

#### ■EU：2017年のEUの温室効果ガス排出量、前年比0.6%増加

欧州委員会は2018年10月26日、2017年のEUの温室効果ガス排出量が前年比0.6%の増加となったと発表した。電力、熱部門では石炭利用の減少により排出量が減少したものの、堅調な経済成長により、運輸、産業部門で排出量が増加した。一方、1990年比では22%減と、2020年目標（1990年比20%減）を上回る水準となっている。また、EUは1990年比40%減との2030年目標を掲げているが、既にEU内で合意された再エネ、省エネ目標の引き上げ、その実現に向けた一連の施策がすべて実行されれば、2030年時点で1990年比45%減の達成が可能であるとした。